

第1回池田市立上方落語資料展示館指定管理者選定・評価委員会 議事経過

- ・ 委員紹介
- ・ 会長選出…藤野委員に決定
- ・ 傍聴者の報告…傍聴希望者なし

《池田市立上方落語資料展示館について》

事務局…施設運営では、桂文枝師匠を名誉館長に迎えることで施設の知名度を高めつつ、広報媒体として、落語みゅーじあむのホームページやリーフレット、情報誌「かみ落語」を利用し、落語の魅力や事業について情報発信を継続的に実行している。安定した施設管理に加え、多岐にわたる事業を展開し、落語文化の普及や振興に寄与しており、地域住民だけでなく市外からの来館者確保にも努めている。リピーターだけでなく新規来館者についても獲得できている。

事業面では、当初新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも安定的に落語会等の事業を実施し、来館者数は回復傾向にある。特に、アマチュア落語家養成講座は、将来的な落語文化の担い手を育成するものであり、出前寄席では、これまで落語に触れることがなかった人にも落語の魅力を伝えることができる意義のある取り組みであると考えます。

利用者満足度に関しては、アンケート調査を活用したり、毎月の会議でスタッフ全員に日々の気づきを共有したりしながら、利用者の満足度向上に努めている点について評価する。

落語を通して地域の活性化や観光振興につながる取り組みを実施されており、単なる資料館ではなく、落語文化を次世代へ継承し、広める重要な役割を担っている。今後も「落語のまち池田」として、広くその魅力を発信し続けることを期待する。以上の理由により、担当課の評価は「優」である。

委員の意見…光熱水費や人件費が高騰する中においても、自助努力により安定した施設運営が行われている。

アマチュア落語家養成講座など他自治体ではあまり見られない特色ある取り組みを継続して実施するとともに、桂文枝師匠を名誉館長として迎えるなど、施設の魅力向上やPRに努めている。

社会人落語日本一決定戦を17年間継続して開催し、全国から参加者を集めることで、シティプロモーションに寄与している。

将来にわたり安定した施設運営を継続するため、大学の落語研究会等との連携を通じて、若い世代の参画を促す取り組みが期待される。

以上の理由から、委員の総合評価は「優」である。

《その他（募集要項、選定方法の確認）》

非公開